

第一講 逸話・詩話

□ 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。なお、設問の都合で返り点・送りがなを省いたところがある。

余少時、聞平陵曹敞在吳章門下、往往好
斥人過、以為輕薄。世人皆以為然。章後
為王莽所殺。人無有敢收葬者。弟子皆更
易姓名、以從他師。敞時為司徒掾。独称
吳章弟子、收葬其屍。方知亮直者不見容
於冗輩中矣。平陵人生為立碑於吳章墓側。

(葛洪『西京雜記』卷二)

(注) ○平陵——漢代の県名。現在、陝西省に属する。 ○呉章——前漢末の学者。

○王莽——前漢末の政治家。漢の帝位を奪い、王朝・新を起こした。 ○司徒掾——丞相の属官。

○冗輩——無用の徒。凡俗。

問一 傍線部 d 「為」と傍線部 e 「為」のそれぞれの訓よみを送りがなも含めて記せ。

d	
e	

問二 傍線部 a 「以為二輕薄」とは、(1)誰が、(2)誰の、(3)どのような点を輕薄と考えたのか、述べよ。

(1)			
(2)			
(3)			

問三 傍線部 b 「為王莽所殺」を(例)にならってひらがなのみで書き下せ。

(例) 学而時習之↓まなんでときにこれをならふ。

--